

福祉防災ネットワークの 構築に向けて

~助かって、助けよう~
みんなで助け合い、大変な時代を乗り切ろう！！

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

1

はじめに ちょっとだけ自己紹介

本項目は、スライドだけで説明します
画面に、ご注目下さい

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

2

1. 最近の被災状況、 防災や福祉BCPの基本

- ・能登半島地震、熱海大雨土砂災害（スライドのみ）
- ・福祉BCPの基本、助かって、助けよう！（資料配布）

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

3

福祉BCPの基本 助かって、助けよう

- ・まずは「防災」の基本的事項
- ・次に福祉BCPの基本的事項

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

4

私達が向き合う「災害」は・・・

- 巨大地震、津波災害、噴火災害
- 原子力災害
- 直下型大地震災害
- 風水害
- 大火災
- ○災
- etc.

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

5

今日本は、「大地動乱の時代」 (石橋克彦氏1994)

- 以前の活動期 幕末～関東大震災頃まで
(余韻は敗戦前後まで)
- 静穏期 戦後～1995阪神淡路大震災の前頃までか
- 活動期 阪神→・・・→東日本<現在進行中>
(次は「首都直下」⇒「東海・東南海・南海地震」?)
- 政府の研究機関等が「懸念」を表明してきた地域で、
大地震災害発生

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

6

阪神大震災 1分半映像、他

- 神戸にある「人と防災未来センター」で上映されている映像の短縮版です。
- 講師も所属する「NPO東京いのちのポータルサイト」に対して、耐震化の促進のために上映を許可されたものです。
- 1995年当時は、現在の様に街中に防犯カメラや監視カメラはありません。個人がビデオをとれるものを持っていることはまれでした。
- この映像は、映画の「特撮チーム」が制作したのですが、大地震と被害の模様を、非常にリアルに再現しています。
- みなさんも、神戸にお出かけの際は「人と防災未来センター」をご見学ください。URL <https://www.dri.ne.jp/> (毎月17日は入館無料)

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

7

災害には「防げないもの」と「防げる」ものがあります

人の努力で防げないもの

- 巨大地震、津波
- 直下型大地震
- 台風、大雨、竜巻（突風）
- etc.
- しかし、被害は軽減可能・・・

人の努力で防げる可能性の高いもの

- 原子力災害
- 戦災
- 火災
- etc.
- できることなら防ぎたい。いや人の知恵で、防がないと・・・

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

8

誤解をしないで欲しいが・・・ 「全ての災害は“防災訓練”である」かも

- 地元にも多大な影響・被害を及ぼさない災害は、ひとつの「防災訓練」であるかのように、受け止めることができます。
(ある種の「警告」です)
- そのときの教訓や、激しい被害を受けた他所の被災地での大変さを学び、自分たちの今後の災害への備えに、生かしていきたいものです。

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

9

災害の「被害を軽減する」ことの本当の意味

- 事前にいろいろな対策をとることで、できるだけ被災者を出さないようにすることです。

例) 家屋の耐震性の確保、重量家具などの固定。

津波被害抑止の高台移転など

大地震などが発生した後で、事後的に救援をして回復できないものへの対策です。

もちろん、事後的に救援することで被災者はとても助かるので、そのような準備も大切ですが、仮に「避難所などの運営だけを一生懸命準備・練習している」としたら、大きな間違いです。

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

10

再度、繰り返します！！ 災害対策の一番の目的

- 死なないですむ家づくり、環境整備
(勤務先も同じ)
- 逃げないですむまちづくり
- この二つにまさる「防災」「減災」は、
ありません！！

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

11

BCP いったい何のこと

- Business Continuity Plan
- 事業継続計画、業務継続計画と訳す
- このBusinessは、要するに「仕事」のこと
- 何か大変な事象が起きても、仕事を続けることができるように計画しておくことで、準備活動、緊急対応、その後の後始末(?)までを含んで、計画を作り実行していくことまでの一連の行動(BCMとも)が求められます

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

12

仕事や事業を続けることが 難しいのは、どんな場合？

- 災害（大地震、大雨、洪水、台風、噴火、
火災・・・）
- 事故・故障（停電、断水・・・）
- 病気（新興感染症）の流行
- ○○（？）


2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

13

クイズ なぜBCPを作るのか

- 仕事や事業が続けられないと、何が問題なのか？！
- 仕事や事業が続けられないと、誰が困るのか？！



2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

14

できるだけ困る人がでない よう計画して実行 = BCM

- 事前に準備できることは、なるべくやっておきます
- 何か起きてても、慌てずに動けるように、訓練しておきます
- 困ったことが起きた時の、対処の仕方を決めておきます
- いざというときに「助けてもらえる」ように、あらかじめ相談して、連絡訓練などやっておきます
- 訓練などで分かった事柄で、計画そのものを改定していきます
- これらはBCMと呼ばれます

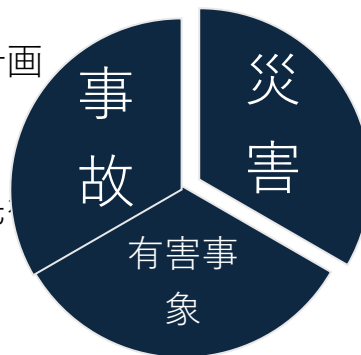
2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

15

BCPは全方位（防災は特定の災害）

- BUSINESS CONTINUITY PLAN
- 事業継続計画、業務継続計画
- BUSINESS ≙ 仕事（広義の・・・）
- 大企業、官庁（役所）で先



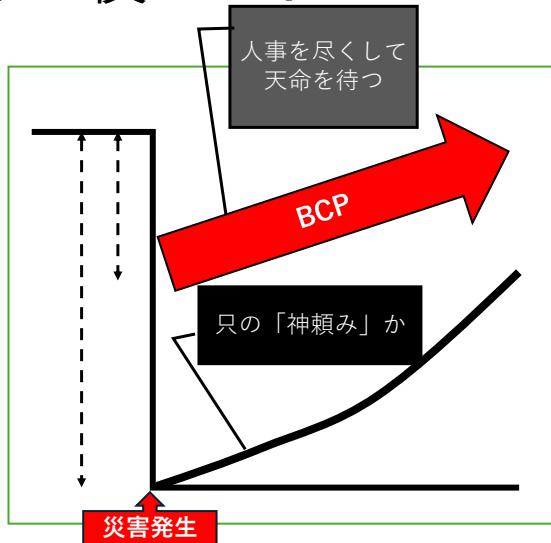
2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

16

BCP作成は、どのように役立つ？

- 被害を最小化する ⇒ 防災・・・
- 社会的使命を全うする ⇒ BCP
- 他に変わるものが無い事業
政府、自治体・・・
- 福祉事業では・・・
- 民間企業等の場合
例) 製造業の場合
例) 中小業者の場合



2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

17

福祉BCPの三要素



利用者



従事者



制度・施設

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

18

福祉分野のBCP作成方法を紹介

- 福祉防災コミュニティ協会では、福祉防災計画≒BCPの策定研修を実施しています
- 福祉BCPについて自習して作りたい方は、右の書籍を参考に。購入方法は、福祉防災コミュニティ協会ホームページから




2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

19

福祉BCPに関する情報提供

- 社会福祉法人 埼玉福祉会のホームページでは、福祉BCPの作成や充実に役立つ情報を提供しています。

 「埼玉福祉会 BCP作成」

- 埼玉福祉会 商品紹介等ページですが、福祉防止コミュニティ協会理事長である跡見学園女子大学鍵屋一教授によるわかりやすい説明動画なども有ります。

ご興味のある方は、検索してみてください。

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

20

2. 災害時の 支援ネットワークづくり

- ・なぜ認定NPO災害福祉広域支援ネットワーク・
サンダーバードが出来たのか
- ・広域支援団体としては、D-WAT、D-CATなどがある
- ・その他の全国的ネットワークの例

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

21

認定NPO サンダーバードのできたわけ

- ・2004年新潟県中越地震
- ・長岡福祉協会 こぶし園 総合施設長 小山剛が生みの親
- ・災害時に、全国から支援が入る
警察、消防、自衛隊・・・自治体、電気、ガス、水道・・・
- ・**しかし「福祉分野は誰も支援に来ない」**
実際には老施協などは動き出そうとしていたが・・・
- ・復旧、復興の過程でも福祉的支援が大切
仮設住宅 サポートセンターを始めて運営した

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

22

広域支援団体としては、D-WAT . . .

- 福祉広域支援の必要性を訴えてきたが . . .
本格的に意識されだしたのは、東日本大震災以降
- 各県域で、順次組織されてきたが . . .
- 全国事務局が全社協に置かれたのは2003（R5）年4月～
- 2004（R6）能登半島地震で最初の「全国的発動」
- D-WATの役割は「限定的」
避難所の福祉専門家による支援（福祉避難所も支援）
- 直接に「福祉施設」を支援するものではない
- 厚労省もその点を認識⇒今回初めて全国的支援を試みたが . . .

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

23

3. グループホームは、これからどうすればよいのだろうか

- 従事職員が少ない福祉施設同士で、
災害時に助け合うための考え方、提案など
- 場所の問題、人の問題、物の備え、情報の備え
- 地域、社協、行政とのつながりの構築が、更に今後への備えとなる

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

24

場所の問題

- 籠城作戦
- 避難場所と避難所の違い
- 一般の避難所が利用できるのか？！
- 近隣の「避難が出来そうな場所」との交流はあるか
- 近隣の類似施設と行き来できているか

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

25

人の問題

- 職員が少ないが・・・
関係する人々が少しずつ「防災意識」を持てるか
- 福祉施設を応援する人は（可能性）
同一法人等 内部からの応援者
非常勤、バイト、普段のボランティアは地元の人・・・
外部からの応援者
災害ボランティアが来てくれる可能性を作るためには
- 福祉事業を「運営する側」（自治体）がどれだけ意識しているか
全国からの福祉人材による応援は、これが要となる

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

26

物の備え・情報の備え

- 備えの基本はBCP
- 電気
- ガスなどの熱源
- 水（飲用水と雑用水）
- トイレ問題には必ず取り組みましょう

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

27

よく聞いていただき、 有難うございました

大災害の時に、困ることをできるだけ減らしておく、というのが災害対策の極意です。

「そんなことを言っても、簡単では無いですよ！！忙しいし・・・」

そのとおり。ゆっくりと、少しずつ「問題解決」にむけて、仲間とのつながり、地域、社協、行政などとの関係性を作っていければ、いざという時に「忘れられないで済む」ようになるでしょう。

2024/3/22

認定NPOサンダーバード 副代表理事 高橋 洋

28